

郡山市長 品川 萬里 様

## 公有資産の有効活用に向けた提言書

平成28年9月20日

郡山市議会議長 今 村 剛 司

本市ではこれまで、高度経済成長や昭和40年から昭和50年代の急激な人口増加と都市化の進展に伴い、市民ニーズに応える形で学校・市営住宅などの公共施設や上下水道・道路などのインフラ施設整備により行政サービスの充実に取り組んできた。

しかしながら、本格的な人口減少社会の到来に伴う厳しい財政状況下においては、今後、一斉に更新時期を迎える公共施設の老朽化への対応など、財政負担の増大が全国的な課題となっており、本市では、行財政の効率化や持続可能な財政運営を行うため、平成27年4月からは、新公会計制度を導入するとともに、公共施設の効率的・効果的なマネジメントに向け、本年3月に「郡山市公共施設等総合管理計画」を策定したところである。

地方公共団体が保有している財産は、これまで納められた大切な税金等により取得したものであり、これら貴重な財産については、無駄なく将来にわたって有効に活用するとともに、行政経営の観点も考慮しながら引き継いでいかなければならない。

このような中、本市議会では、平成27年12月15日に「公有資産活用検討特別委員会」を設置し、公有資産の有効活用や公共施設の適切なあり方について協議を重ねてきたところである。

その協議の結果、公有資産の有効活用に関する次の事項について、早急に検討し、対応されるよう提言する。

## 1 旧豊田浄水場跡地の暫定的な利用について

旧豊田浄水場跡地は廃止後4年が経過したが、いまだに利用方法が決まっておらず、維持管理費のみが発生している状況である。

そのような中、市役所や文化・スポーツ施設が集中する麓山・開成山地区においては、施設利用者用の駐車場が不足している現状に加え、今後、「(仮称)開成山屋内水泳場」の開場に伴い、利用者が増加することも予想されることに鑑み、また、高齢者をはじめ市民の健康増進等の観点から、旧豊田浄水場跡地の一部を、当面、駐車場や自由広場等として暫定利用できるよう、必要最低限の整備を早急に検討し、対応すること。

## 2 公共施設駐車場について

市役所や文化・スポーツ施設が集中する麓山・開成山地区、さらに安積・富久山行政センター周辺などにおいては、慢性的な駐車場不足が、また市内各公共施設においても、イベント等開催時の駐車場不足が発生し、道路交通の妨げとなる事例も散見される。

このため、民間との協働も選択肢に含めながら、更なる市民サービス向上に向け、適切な駐車場確保等への検討を進めること。

## 3 貸し施設について

公民館等の貸し施設の更なる利用促進を図るため、地域住民や利用者の意見を十分に調査した上で、開館時間や休館日等のあり方について検討を行うなど、施策の充実に努めること。

## 4 公有資産活用における市民意見の反映等について

公有資産の利活用及び個別計画策定にあたっては、公有資産が市民共有の財産であり多様な役割を担っていることも踏まえ、市民意見等を十分反映していくこと。

## 5 小中学校の統合を見据えた取組みについて

西田地区においては、義務教育学校の整備及びこれにより既存5小学校が廃校となることから、現時点において、早期に住民との意見交換や協議を行い、整備される義務教育学校の利活用及び廃校となる施設の最適利用に向け、地元はもとより、本市全体として検討していくこと。